

視点2：学年や教科を超えた組織的な授業改善の推進

「**共有しよう**」
 研究を
 途切れさせない！
 伝えよう
 赴任してきた先生方に
 年度初めに伝える

「**共有しよう**」
 研究を
 途切れさせない！
 伝えよう

「**共有しよう**」
 研究を
 途切れさせない！
 伝えよう

職員室で共有
 「〇〇、やってみたよ」
 「こっちの教科でもできるかも！」
 成功談、失敗談、後日談

研究通信の発行！
 誰がどんなことに
 チャレンジしたか
 分かる

「自分の授業で
 やってみたいこと、いかせそうなこと」を
 感想という名の『次への宣言』を
 してもらおう

令和7年度 長島小学校校内研究の山！
 2年生



1回1回の校内研の積み重ね

「**自分は何をする？何が出来る？**」

「**自分は何をする？何が出来る？**」

「**自分は何をする？何が出来る？**」

校内研の工夫

ゼロからスタート大歓迎
 事前研をほぼ全員でやる
 すると、1人で戦わなくて済む

みんなで話すと、昨年の様子、
 やったことあるアイデア
 子どもたちの話が
 出てくる！出てくる！

「授業者だけが
 がんばる授業」
 から
 「授業者の体を借りて
 みんなで授業者に
 なる」という感覚へ！

みんなの力を借りよう

研究会では、次につながる
 振り返りを授業者以外がする！

1年生の授業の感想 先生

1年生の授業の感想や、自分の授業にいかせそうだなと思ったことを書いてください。

子ども達が自分で設定した話について、ワクワクしながら話す姿が素敵でした。ペープサートを使って会話するの
 が、本当に楽しそうでした。学級で「ふわふわ言葉」が定着してきているからこそ、子ども達もそれを意識して会話の仕方を考えられていました。

低学年の振り返りとして、文で書き表せない言葉を対話から引き出し、言語化してあげることがとても有効だと感じました。自分で書けるように指導していくことも必要ですが、今後の授業で、安心感のある価値付けができるように、私も意識していきたいです。

6年生の授業を通して学んだこと(自分の実践に生かしたいこと)

- ・考えさせる時間、話し合う時間の確保。
- ・子どもたちが自分たちで考える道筋を示すこと。
- ・子どもたちが「きっと出来る」と信じて待つこと。
- ・板書、全文が見渡せる教材文など学習課題の達成に必要な工夫。
- ・ポイントを絞った「問い」。

「問い」づくりにポイントがあるような気がします。比較(対比)、成長、心情の変化、人間関係、題名の意味、作者の思い(テーマ)、作風・表現方法・・・これらに合わせた「問い」がつくれるとさっとよりよい活動が出来るのでは。

「**提言**」
 授業改善はチーム戦！
 職員一人ひとりが「自分事」として授業をデザインし、
 児童の「できそう」「わかった」を生み出していく

